

捺印してください。

記入例

平成 年寄附分 市町村民税 道府県民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書

平成 28 年 6 月 10 日
〇〇町長 殿

住所	東京都〇〇区〇〇町 00-00-000	整理番号	
電話番号	00-0000-0000	フリガナ	故郷 太郎
		氏名	故郷 太郎
		個人番号	000000000000
		性別	男 女
		生年月日	男・大 婦・平 51・7・18

第五十五号の五〇〇式（附則）

太枠内の項目を全て記入してください。

重要：マイナンバーを記入し、下記の確認書類を同封下さい。

番号：個人番号カード(裏面)又は通知カードのコピー
本人：個人番号カード(表面)又は運転免許書等(※)のコピー
※番号確認は個人番号記載の住民票の写しも可。
※本人確認は公的な身分証明書の写しが必要です。

寄附をした年月日と金額を記入します。

※同じ自治体に複数回寄附をした場合、その都度申請書を提出する必要があります。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
平成 28 年 5 月 5 日	20,000 円

ふるさとチョイスにて申し込まれた方はクレジット決済日又は申込月日が印字されています。

「確定申告をする必要のない」方が、ふるさと納税による寄附をした場合のみチェックをしてください。

①と②どちらも該当する場合のみワンストップ特例の申請が可能です。

その年のふるさと納税による寄附先が「5自治体」以下であると見込まれる場合のみチェックをしてください。(寄附回数ではなく、寄附先の自治体数)

② 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者である

(注) 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者をいいます。

(繰り返らないでください。)

ワンストップサービスに関する留意事項(必ずお読みください。)

- ワンストップ特例(寄附金税額控除に係る申告特例申請)は、確定申告・住民税申告を要しない方が「ふるさと寄附金」をした際に簡易な申請をすることで、確定申告等の税務手続きをしなくても、税控除が受けられる特例制度です。
- 寄附をされた後、申請書を郵便等により提出して下さい。後日、寄附金納付の確認後、猿払村より受付書を郵送いたします。
- 地方税法の規定により、ワンストップ特例申請をされた方が確定申告又は住民税申告をしてしまった場合は、ワンストップ特例の申請自体がなかったものとして取り扱われます。
- ワンストップ特例の申請を行った後、医療費控除等の控除の追加や新たな所得の発生により確定申告・住民税申告の必要性が生じた場合は、ふるさと寄附金についても確定申告を行い寄附控除を受けて下さい。
- ワンストップ特例の申請市町村数が年間5市町村を超えた場合は、ワンストップ特例の申請が無効になりますので、ご注意下さい。その場合は確定申告によりふるさと納税の控除手続きを行って下さい。
- この申請書はマイナンバーを含む特定個人情報です。番号確認と本人確認書類も同封する必要があるため、申請書を提出される場合は普通郵便ではなく「簡易書留」等の追跡可能な方法により提出されるようお願いいたします。(普通郵便は追跡や受取の確認ができません。)